



真生会白百合ベビーホーム便り

明るく、楽しく、元氣よく

ひな祭りは、年度内最後の院内行事となります。子どもたちが、自分の作ったお雛様をちゃんと分かっているのに驚きました。そこで、毎日こっそり、人形の並び方を変えてみました。それでもちゃんと見つけます。その人形を指さして、満足してくれます。自分の作ったものが飾ってあること、大切にされていることが伝わるのかもしれない。だから他の人形もちゃんと大切に扱っています。子ども主体。これを第一に子どもたちに寄り添ってくれた職員、関係者の皆様に心からの感謝をお届けします。

社会福祉法人真生会 白百合ベビーホーム 理事長／院長 青木紀久代



ひな祭りに向けて、ベビーホームのロビーには子どもたちが作ったお内裏様とお雛様がずらりと並んでいます。この1年、季節を感じる遊びや行事に全力で取り組み、たくさんの経験を積んだ子どもたち。院内外でたくさんの方と交流したり毎月のクッキングでは新しいことにチャレンジしたりと身も心も大きく成長しました。ますます元気に、病気やけがなく過ごせるよう、当日はひな祭りのお祝いをします☘

ユニットでの様子



たんぽぽ・すずらん

2月は節分やバレンタインデーなど、ワクワクする行事が満載でした。節分にはしっかり鬼退治！鬼さんと仲直りの写真を撮った後は、ユニットで恵方巻を作ってモリモリたくさん食べました。桜でんぶで色付けしたピンクののり巻きが人気で、嬉しそうなお子どもたち。バレンタインデーにはチョコがけクッキー作りにも挑戦。可愛いデコレーションをして美味しくいただきました。雪が降った日には寒さも吹き飛ばして、思いっきり雪遊びを楽しみました。



ひまわり・なのほな

雪が降った日に「雪だ！」と嬉しそうに指をさして教えてくれ、じっと外を眺めていました。寒さに負けず、「長靴を履きたい！」と素早く準備を済ませ、外へ飛び出しました。雪を踏む感触や足跡、滑るスリルを楽しんだり、トラックの玩具にたくさん雪を積んだり、カップに雪を入れたりして遊びました。遊具に積もった雪が溶け、「なんで水が落ちてくるの？」と不思議そうに見上げ、濡れちゃったと満面の笑みも見られました。頬や鼻を赤らめながらも、元気いっぱい楽しんでいきます。今月はひな壇の前で着物を着て、写真撮影もしました。ぽかぽか暖かい日もあり、春の訪れを感じながら、子どもたちと一緒に戸外遊びを楽しんでいきたいです。



あさがお・すみれ

2月と言えば節分。鬼が嫌いなイワシを部屋に飾り、鬼に見立てた的当てゲームをしながら「鬼が来たら何て言うんだっけ？」と聞くと「鬼は外！」と元気いっぱい答えていましたが、いざ鬼が来ると緊張してしまい声が出せませんでした。「鬼はちゃーちゃんでした！」とお面を取ると「ちゃーちゃんだ！」と安心した表情になりつつも「写真撮ろうよ」と声をかけると首を振りまだ心のどこかでは疑っている様子のお子どもたちでした。

雪が降った日、「雪だ！」「雪で遊べる！」と朝から嬉しそうなお子どもたち。窓から雪を眺めながら「ちゃーちゃん来れるかな？」「電車乗れるかな？」とちゃーちゃんの心配をしてくれる優しいお子どもたちでした。



もも・あんず

2月3日の節分の日、大きな赤鬼がユニットに登場！！あまりの怖さに、ほとんどの子どもが大泣きでしたが、仲直りのお菓子をもらおうと手をつなぐことができた子どももいました。怖かったけど、最後は仲良くできてよかったね・・・。その後しばらくは、鬼さんの話がたくさん聞かれました。

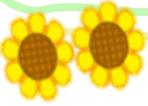
今年1年を振り返って

たんぽぽ・すずらん



ユニットでは初めて、2名の子が幼稚園に通った年でした。緊張した面持ちで通い始めましたが、段々慣れてくると朝の支度もテキパキとこなし、「行ってきま〜す!」と元気に走り出していく姿がありました。また、今年は3名の子どもたちが無事に里親委託となりました。ホームカミングでは、幸せいっぱいの笑顔を見せに来てくれ、ベビーホームからそれぞれの家庭へと、しっかりバトンを繋げることができた1年となりました。

ひまわり・なのほな



今年度はユニットから幼稚園に1名、法人内に開設された児童発達支援に4名が通いました。元気に出かけていく日もあれば、「行きたくない!」と言う日もあり、それを支えて見送り、帰ってきたら「今日は、何したの?」と聞き、一緒に出来事を振り返ることを大切にしてきました。小さな子は、大人と目を合わせ声を出して思いを伝えたり、ずり這いで自由に動ける喜びを感じたり、言葉で表現できるようになった子は、ちゃーちゃんとのやりとりを楽しんでいます。それぞれが自分を出しながら、成長し合うことができた一年でした。

あさがお・すみれ



2025年度も終わろうとしています。小さなお友だちから大きなお友だちとたくさん遊んで過ごしてきました。小さな子はハイハイをしたり、興味のあるおもちゃに手を伸ばしたりと、たくさん笑顔が見られるようになりました。離乳食の時間には大きなお口を開けて“早くちょうだい”と身体を前のめりにして訴えてくる姿がとっても微笑ましいです。

もも・あんず

4月当初、2歳未満の子どもたちでスタートしたユニットでした。お散歩に行くにも、すぐ先にある公園までも到着できず、泣く泣く途中で引き返すことが続きましたが、成長して体力もつき、今では長後街道に大好きな車を見に行き、さらに先にあるスーパーまで買い物に行くことができ、遊びの範囲が広がりました。



調理



ランチルームに差し込む日差しが春の訪れを感じる季節になりました。この1年子どもたちは、日々の食事を通して体も心もとっても成長しました。食べられる食材の種類が増え、また給食の準備やお片付け、ごちそうさまのごあいさつ、できることがどんどん増えていく姿に感動する毎日でした。新年度も安心安全な楽しい食事を提供していきます。

環境

年度初めに志した「縁の下の力持ち」という旗標を胸に、環境職員一丸となって日々の清掃に取り組んできました。ルーティン作業と思われがちな仕事ですが、常にあれ？どうして？の目で業務に向き合い、小さなうちに問題を解決することを心掛けました。安全安心な環境づくりは、未来に行くこどもたちへ私たちからのエール。これからも目立たないところで一生懸命応援していきます！フレー、フレー、ベビー！！



総務



4月から新しく配属されたメンバーとともに、施設全体がチームとなって子どもたちを支えられるよう、連携の強化に努めてまいりました。関係機関や保護者の皆様、地域との温かなつながりを大切に、院内行事へのご招待や地域のイベントへの参加などにも積極的に取り組んできました。1年という月日で一回りも二回りも成長する子どもたちのパワーを原動力に、総務一丸となり、日々励んできた1年でした。

今月の遊び「運動遊び」



節分が終わり、梅が咲き始めた矢先に雪が降り積もりました。外へ遊びに行き、雪合戦や雪だるまを作り、冷たくてふわふわした雪の感触まで楽しむことができました。

また、白百合公園のプレイパークのイベントでは新しい発見をしたり、他ユニットと一緒にテラスでバイクレースを始めたりと、お友だちと一緒に楽しんで沢山遊びました。

3月の予定

- 3日 ひなまつり
- 6日 音楽プログラム
- 10日 ダンスプログラム
- 11日 リトミック
- 14日 おはなしの会
- 19日 防災訓練
- 23日 アートプログラム

今月の絵本

おひさまあはは

作：前川 かずお

こぐま社

しろくまのパンツ

作：tupera tupera

ブロンズ新社

発行元 横浜市泉区中田東1-41-3
社会福祉法人真生会
白百合ベビーホーム
責任者 院長 青木 紀久代
電話 045-803-0398